

THE GIKAI SHINBUN

# 議会新聞

不偏不党の未来を展望する

PARLIAMENTARY NEWSPAPER

発行

代表取締役社長  
日本地方新聞協会  
株式会社議会新聞社  
代表取締役社長  
土井・光永  
編集・プロデューサー 山崎博子  
制作・販売部

創刊社  
〒904-8203  
沖縄県読者センター1750-3  
ゴールデン・サン・ビル内  
読者センター本部

新聞と新聞社の関係の近い紙をぜひ、ご活用ください。



自分の力で  
かえる  
一票一揆

令和6年



鈴木宗男(すずきむねお)プロフィール●参議院議員(1期)1948年1月31日生まれ75才、北海道足寄町農家の次男として出生。大学在学中に中川一郎衆議院議員秘書。拓殖大学政経学部卒業。35才で衆議院選挙(北海道旧5区)初当選。衆議院議員8期。1991年10月杉原千畝の名誉回復。第二次橋本改造内閣で北海道開発長官・沖縄開発長官。1997年学童疎開船「対馬丸(沖縄→長崎)」発見を実現。対馬丸記念館建設に尽力。小淵第一次改造内閣で官房副長官。1999年自民党総務局長。沖縄普天間基地問題に尽力。2002年逮捕。03年保釈、同年胃癌の手術。04年衆議院議員選挙落選(得票数48万5382票)。2005年衆議院議員当選国政復帰。2009年同当選も2010年収監。同失職。2019年参議院議員当選、国政復帰。現在に至る。



## 島民に残された時間は少ない

光永●ズバリお尋ねします。これだけの(米欧寄りのマスコミ、政界の)状況の中で敢えてロシアに行かれたのはどうしてですか？

鈴木●平均年齢が84歳を超えた元島民の皆さんの想いを私が形にしたい、これがロシアに行った最大の理由です。偽りはありません。

## 沖縄県との関わりは深い

光永●沖縄開発庁長官を歴任されています。沖縄との関わりは長いのですか。

鈴木●あの大戦で亡くなられた軍人で最も多いのは沖縄出身の兵隊さん。二番目は北海道出身の兵隊さんなのです。

沖縄の方はそのことをよくわかって頂いていて慰霊碑は他県のものより大きく作ってあります。

私が駆け出しの頃、はるばる沖縄の職員が中央省庁に陳情に来られていた。しかし慣例で省庁の役人達は合ってくれない。

それを見かねた私は烈火のごとく怒った(当時は航空運賃は高かった)。当時のサトウキビの価格の陳情だったのが会って話を聞くようになった。

そのはるばるの陳情にきた職員が現在、沖縄で首長として活躍されています。

## デニー 沖縄県知事

光永●知事は政府と対立する立場の方だけでなく政府に近い方も含めもっと多くの対話をすべきと思う。

鈴木●デニー知事とは国会議員の時代から話していますよ。

## 基地問題

光永●基地問題は当時、どうだったのですか？

時、この問題を解決しようとした。数千億で。その後私は逮捕された。私が国政に復帰したら、数兆円で辺野古の工事が進んでいる。あれから二十年。何もできていない。これから二十年。できると思えますか？

是非沖縄へ

光永●我々に先生のお話をお聞かせ頂けませんか？

鈴木●すぐに行きますよ。何時にしますか？私は沖縄と関わりが深いのです。

〈文責・濱武振一〉

80年代東西冷戦の時代から国際情勢を知る生き字引 領土問題から身近な農政まで 郷土に鍛え上げられた人間 鈴木宗男

日本はポツダム宣言受託後、連合国、とりわけ米国中心の統治下に入り法整備を含めた国家の骨格を再デザインした。

先人たちの叡智により早期に独立、国際舞台への復帰を果たしたが、唯一の陸上戦が繰り広げられた沖縄は本土復帰までの年月を待たねばならなかった。

そして、復帰後も基地問題、経済格差と沖縄には忍従の日々が続いている。

ところで日本政府は原則、独立は得ているものの、米欧(G7)の意向に反する政策決定はできない建てつけになっている。

米欧と戦争状態にある国家との協力関係は罰せられるものではないが、米欧からの(経済)制裁を受ける事になる。

よって日本政府は米欧と戦争状態の国と独自チャンネルは持たない。

しかし、米欧が掲げる「法による支配」に従えば選挙で選ばれた「議員」は「住民の投票」によりその地位は保証され、その権能を住民以外に剥奪されることはない。

この権能を持つ議員は不法行為(実定法違反)や公序良俗(ローマ法)に反しない限り官僚や米欧ができない独自「対話」を行うことができる(これが民主主義である)。

台湾・中国・沖縄・日本

難しい連立方程式を解くために我々は先頭に立つ第一人者の叡智と行動を学ばなければならぬ。人から人生を決められる前に。